

新宮山彦ぐるーぷ第1891回

モノレール寄贈者(株)カマハラテックに

御礼の扁額(園城寺・福家俊彦執事長揮毫)贈呈式

◇実施日；平成28年08月02日(火) 11:00～11:30

◇贈呈式場所；(株)カマハラテック・鮎田事業所事務室

◇参加者；(株)カマハラテック代表取締役・谷 公雄ご夫妻。

山上皓一郎。川島 功、沖崎吉信。 3名。

行仙宿登山口から浦向道分岐間にモノレールが架設(長さ約250m、標高差約130m)されました。

当初、新宮信用金庫と当ぐるーぷが、各50万拋出し不足分は(株)カマハラテック様に社会貢献して頂く事で要望していましたが、モノレール架設に携わった(株)カマハラテックは、当ぐるーぷの活動を評価して下さると共に玉岡さん親子が肩・腰にロープを結び下降される姿に感動され、全額無償寄贈して下さいました。

高額な寄贈のため、何か謝礼すべく検討する中で、天台寺門宗一千五十年慶讃法要に招待・参列の折に、福家俊彦執事長にモノレール寄贈の経緯を説明し、事務所等への扁額の揮毫を厚かましくお願いしたところ、有難く快諾頂きました。

この度「山静如太古」(山静かなること太古の如し)を2枚揮毫賜り、表装し扁額(W45.5cm×L167cm)に致しました。

一架は、昨秋改築の持経宿へ改築記念として宿内に掲額。一架は、(株)カマハラテック様に御礼として贈呈する事にしました。

谷社長は、貴重な揮毫扁額の贈呈に、大変喜んで頂けました。掲額場所は、応接ソファー上に後日掲額すること。

懇談の中で、行仙宿に初来訪して下さった際に、尾根の第二ベシチ迄延長したら一層良い等の雑談話がありました。

最後に、福家俊彦執事長様には、業務多忙の中揮毫賜り、心より感謝とお礼を申し上げる次第です。(記 川島)



扁額贈呈式



贈呈後の懇談